



平成28年8月21日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ: <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

主な掲載内容 < 2・3面 > 地震その時10のポイント/地震から命を守る!家具転倒対策/身近なものを利用したの救出・救護  
< 4面 > 優マーク制度/あなたの力が必要です!消防団員募集!  
Miniコラム プレゼントコーナー

## 9月9日は救急の日 救えるはずの「命」を救うため! 救急車の適正利用をお願いします!

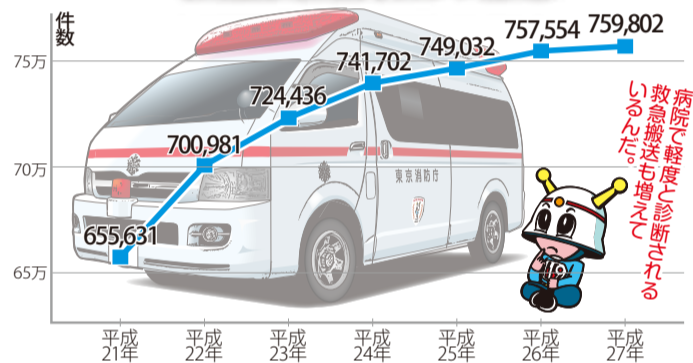


### 救急出動件数が過去最高に!!

昨年、救急出動件数が759,802件を記録し6年連続で過去最多を記録しました。特に65歳以上の高齢者層が全搬送人員の49.9%を占め、今後も高齢化の進展に伴い救急要請の増加が見込まれます。

東京消防庁では、平成27年度に救急隊を5隊増強配置し、本年6月には救急要請件数の変化に応じて待機場所を移動する救急機動部隊を発隊させるなど増加する救急要請への対応を進めています。

### 救急出動件数の推移



### あなたの応急手当が命を救う!

急な病気やけがなど救急事故の現場に居合わせた人(バイスタンダー)が、救急車の到着までの間に応急手当を行うことで、命を救うことや症状の悪化防止などに貢献できます。もし、人の命にかかわる場面に遭遇したとき「何もできない」ではなく、自分ができる範囲のことを自信を持って行うことで、あなたにも救える命があります。

東京消防庁では、都民のみなさまや事業所を対象とした救命講習を行っています。講習修了者には、救命技能認定証が交付されます。詳しくは、お近くの消防署へお問合せください。



### 病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったら?

急な病気やけがをして病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った場合には、24時間電話で相談ができる「救急相談センター(＃7119)」、インターネットで緊急度や受診する科目を確認できる「東京版 救急受診ガイド」の2つの安心サービスをご利用ください。

真に救急車を必要とする人のため、救急車の適正利用をお願いします。ただし緊急性があると思った時は、ためらわず119番通報をしてください。

**FIRE NEWS 最新情報**

**心肺蘇生の方法が見直されました。**  
JRC(日本版)ガイドライン2015の公表を受け、東京消防庁では、平成28年7月1日から、新しいガイドラインに基づく応急手当の講習を開始しました。新しいガイドラインによる救命講習を受講しましょう。

**何が変わった? 例えば...**

1. 胸骨圧迫の深さは約5cm
2. 胸骨圧迫のテンポは1分間に100回~120回

5年に一度のガイドラインは見直しがあります。

深さは約5cm! テンポは1分間に100回~120回

東京消防庁 **救急相談センター**  
[24時間受付・年中無休] 携帯電話 PHS ブッシュ回線

**# 7 1 1 9**

つながらない場合は... 23 ☎ 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

東京版 **救急受診ガイド**

病気やけがの緊急度や受診する科目が東京消防庁ホームページで確認できる!  
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

携帯電話は **こちらから**

スマートフォンは **こちらから**

救急医療週間 9/4(日)~9/10(土) 大切な命を救う その勇氣 (平成28年度 東京消防庁救急標語 作者 芳原 さらさん (中野区在学))